

- 1978年10月 『comicJUN』(サン出版・刊)創刊
- 1979年2月 『comicJUN』3号、『JUNE』と改題され刊行。
- 1979年4月 『JUNE』(『comicJUN』)通巻4号刊行
編集後記にて誌名変更の理由が明かされる。
《株式会社ジュンの商標と混同される恐れがあった為》との事。
- 1979年12月 同人誌『RAPPORTI(らっぽり) やおい 特集号』刊行(発行責任者:波津杉子)
「やおい」を定義した同人誌とされる。
- 1979年8月 『JUNE』一時休刊
- 1980年10月 『ALLAN』(みのり書房・刊)創刊。アニメ情報誌『OUT』増刊号として。
1984年6月・通巻22冊にて『JUNE』のライバル誌としての歴史を閉じる。
- 1981年5月 『ふぁんろード』(ラポート・刊)5号に「ショタコン」の文字が登場。(74ページ)
- 1981年10月 『JUNE』、『劇画ジャンプ』増刊として復刊。
- 1987年1月 別冊COMIC BOX1『つばさ百貨店』(ふゅーじょんぶろだくと・刊)刊行
現在の二次創作ジャンル別アンソロジーの祖であると思われる。
- 1988年4月 『メイドイン★星矢』—星矢同人アンソロジー—(青磁ビブロス・刊)刊行
青磁ビブロス(後ビブロス→リブレ出版)創業間もない頃の仕事。
この時点でカバー付A5版・ISBN付と言うアンソロジーの流通形態が整う。
- 1990年8月 『GUST』(桜桃書房)、アンソロジー形態で創刊。キャッチフレーズは"YAOI COMIC"。
- 1991年1月 コミケット第2代代表・米沢嘉博が『現代用語の基礎知識 1991』(自由国民社)
「マンガ文化用語の解説」文中で《やおい》を独立項目として解説。
その基本内容は2002年版で米沢が解説員を退くまで変化せず。
- 1991年12月 『イマージュ』(白夜書房・刊)創刊。キャッチコピー"BOYS LOVE COMIC"。
「ボーイズラブ」と言う言葉の初出と考えられる。
- *****
- 勁文社より神崎春子の小説『瞳に星降る』が「耽美小説 SERIES」として刊行。
商業区分としての《耽美小説》の名称はここに始まったものと思われる。
- 1994年3月 雑誌『Charade』(二見書房・刊)創刊。キャッチフレーズは"BOYS' LOVE for GIRLS"。
- 1994年8月 『ぱふ』(雑草社)8月号特集
「創刊ラッシュで戦国時代突入—『BOYS LOVE MAGAZINE』完全攻略マニュアル」
- 1999年8月 ネット上で「腐女子」の使用目撃例が報告される。
- 2001年9月 米・カリフォルニア州にて"YAOI-CON"開催。以後毎年開催。http://yaoicon.com/
- 2002年8月 2ちゃんねる801板で「腐兄」と言う言葉が生まれる。「腐男子」は一応初出。
- 2004年5月 『ぱふ』(雑草社・刊)2004年5月号巻末で「乙女ロード」の名称初出。
- 2005年10月 別冊ぱふ『BLM ビーエルマガジン』(雑草社・刊)創刊
公の場でBLをそのままビーエルと読み下した先駆であるかと思われる。
- 2006年4月 ビブロス倒産。系列会社のハイランドも倒産する。
ビブロスは5月にリブレ出版として再出発。
- 2007年3月 米・POP JAPAN TRAVEL 社"Yaoi Bishonen and Boys Love Tour"を企画し来日。
このツアーは後年"FUJOSHI PARADISE TOUR""FANGIRL PARADISE TOUR"と名を変え定着
- 2008年3月 腐女子専用ポータルサイト"腐女子.JP"開設。http://fujyoshi.jp/
- 2008年5月 乙女用ポータルサイト"がる★ぱら"開設。http://www.garupara.jp/
- 2009年4月 腐男子ポータルサイト"腐男子.net"、中国にて開設。http://www.fudanshi.net/
- 2009年11月 cafe801、現在地にて開店する。